



第4回並木地区小規模校再編検討委員会 開催

☆平成16年10月8日(金)19時から

☆並木第三小学校「コミュニティハウス」にて



第4回検討委員会の協議内容等  
議題

- 1 再編統合の考え方(案)について
  - 2 今後の進め方について
  - 3 具体的検討事項
    - (1) 統合校の設置場所について
    - (2) 新学校名について
    - (3) その他
- \* 質疑応答及び意見交換

再編統合の実施時期を平成18年4月で決定

1 並木第二小学校・並木第三小学校の再編統合の考え方(案)について事務局から説明がありました。

項 目	内 容
再編時期	<p>・再編統合の実施時期は、平成18年4月とする。</p> <p>(理由)</p> <p>統合に向け、事前の両校の交流や新たな学校にふさしい教育の特色等を検討するなど、準備期間を十分確保するため、17年度からの統合は見送り、18年度の統合を目指す。</p> <p>ただし、17年度に両校が様々な交流を図るためには、できるだけ早期に学校行事の日程調整や教育課程の検討に着手する必要がある。</p>
統合にあたっての考え方	<p>・一方の学校が残り、他方の学校が廃止されるということではなく、両校を一旦閉校し、新たな学校を誕生させるという考え方で統合を検討する。従って、学校の名称も白紙から検討することとし、新たな学校のあり方等については両校が対等な立場で検討することとする。</p>
新校の特色づくり	<p>・再編を契機に「並木地区」にふさわしい教育の特色づくりを進める。また、教育委員会は必要な支援を行う。</p>
富岡小学校との通学区域調整	<p>・富岡小学校区域のうち、国道16号線より東側の区域については、通学安全等の理由から並木地区の学校への編入を望む住民もいる。</p> <p>・統合後の新校に受入上余裕があることから、富岡小学校や該当区域の住民の意思を十分確認しながら調整を図って、新校への編入を検討する。</p>
統合校の中学校の通学区域	<p>・中学校については、「富岡東中学校・並木中学校」ともに受入上の支障はないことから、統合を機会に地域の意向を踏まえながら弾力的に検討する。</p> <p><b>統合校の中学校通学区域の例</b></p> <p>現行通りの通学区域とする。</p> <p>希望により「富岡東中学校、並木中学校」を選択できる特別調整通学区域とする。</p>

再編の考え方についての質問と回答

- Q1 再編まで1年半程度の期間を設けることは賛成であり、非常に良い考え方だと思います。新校を設置するにあたって、先生方の人事面については、一斉に新しい先生方が来られるようになるのか。どのような配慮を考えているのか、教育委員会としての考え方を教えてください。

A 教員の人事異動については、今までは、同一校で「最長10年間」は本人が希望しない限り、同一校にすることが可能となっています。ただ人事の硬直化等の指摘もあることから、人事異動制度の見直しも検討されています。再編統合は横浜市では、初めてなので、なるべく両校の校長の意向を取り入れて、現在の状況を知っている先生を新校に配置するとともに、教員の意向も考慮しながら、検討していきたいと思えます。

\*再編統合の実施時期は、平成18年4月とするなどの再編の考え方が承認されました。

## 2 並木地区小規模校再編の今後の進め方(案)について事務局から説明がありました。

- ☆第1回 (6/16) 横浜市及び並木地区の小規模校の現状
- ☆第2回 (7/16) 小規模校再編の考え方について
- ☆第3回 (9/8) 並木第二小、並木第三小の統合について(承認)

- ★第4回以降の検討事項
- ・統合校の設置場所
  - ・教育の特色
  - ・中学校の通学区域
  - ・新校名
  - ・統合校の通学区域の調整
  - ・跡利用要望
  - ・その他

- ～両校プロジェクト～
- ・校歌・校章
  - ・「学校行事」関係事項
  - ・「PTA関係」関連事項等

☆第 回(年度内?) 教育委員会あての意見書の提出

- その他(地域との調整事項)
- ・「地域防災拠点」関連
  - ・コミュニティハウス等

今後の進め方についても承認されました。

## 3 具体的検討事項

(1) 統合校の設置場所について、事務局から次の資料について説明がありました。

～☆両校(並木第二小・並木第三小)の立地条件の比較～

通学距離と通学時間(80m/分)

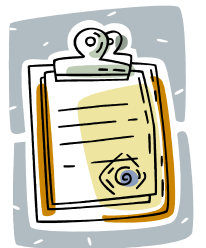
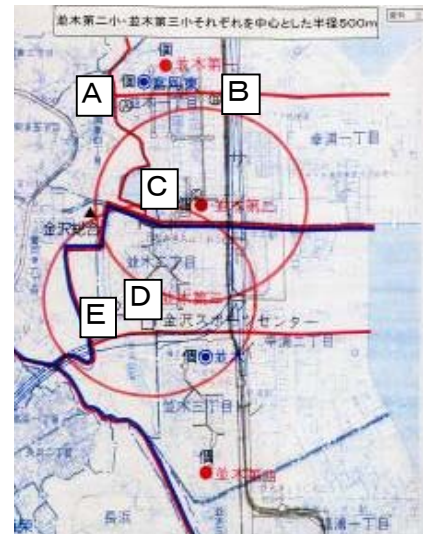
・地図内(A地点)から並木第二小学校(C地点)まで	840m(徒歩 約 11分)
・地図内(A地点)から並木第三小学校(D地点)まで	1,290m(徒歩 約 16分)
・地図内(B地点)から並木第二小学校(C地点)まで	660m(徒歩 約 8分)
・地図内(B地点)から並木第三小学校(D地点)まで	1,280m(徒歩 約 16分)
・地図内(E地点)から並木第二小学校(C地点)まで	810m(徒歩 約 10分)
・地図内(E地点)から並木第三小学校(D地点)まで	180m(徒歩 約 2分)

\* 現在の並木第二小を統合場所とする場合、現並木第三小の通学区域の約半分のエリアは通学距離が短くなり、最大でも約840m以内(約11分)の通学距離となる。

\* 現在の並木第三小を統合場所とする場合、現並木第二小の全児童は、現在よりも通学距離が長くなり、最大で1,290m(約16分)を要する通学距離となる。

～☆両校(並木第二小・並木第三小)の学校施設の比較～

	項目	並木第二小	並木第三小
施設概要	建築年度	S54年度新築、S55年度増築	S56年度新築、S57年度増築
	敷地面積	15,015 m <sup>2</sup>	16,399 m <sup>2</sup>
	校舎床面積	5,656 m <sup>2</sup>	6,441 m <sup>2</sup>
	構造・階数	RC造3階建(1棟)	RC造3階建(2棟)
	校庭面積	4,449 m <sup>2</sup>	5,038 m <sup>2</sup>
	体育館面積	688 m <sup>2</sup>	704 m <sup>2</sup>
	その他		コミュニティハウス
保有教室	平成16年度学級数		
	普通教室	24 (はまっ子含む)	25 (はまっ子含む)
	個別支援	2	2
	特別教室	6	6
	多目的室	0	4ヶ所(1CR×4)



営繕履歴		S 63 年度 屋上防水	H 05 年度 コミュニティハウス設置
		H 元 年度 外壁防水・塗装	H 12 年度 保健相談室改造
		H 15 年度 トイレ洋式化	
	校舎耐震補強	耐震補強工事を必要とする。	新耐震構造による設計であるため耐震補強工事を必要としない。

(2) 新学校名について事務局から説明がありました。

「参考」として、学校名を決めるにあたっての案ですが、今まで新しい学校ができたときは、地域の代表による開校準備委員会を組織して、名称の検討しますが、委員会でいくつかの案を出していただき、それを小学校・中学校の保護者の方々へアンケートし、この中でどれが良いか、他に案はあるのかといったものを出していただき、最終的に委員会のなかで決定していくやり方をしています。条例や規則でこのような名前はいけないという決めはありませんが、原則として、「校名を聞いて、その学校の場所が想像できるような学校名」としてほしい。条件として、「①すでに存在する学校名は使用しない。②新〇〇小学校等の決め方もある。③アルファベットは使用しない。」ということをお願いします。なお、現在、横浜市内で「カタカナ」の校名はありません。

～次のようなご質問やご意見がありました。～



### ～ご質問～

- Q1** 前回決まったことを蒸し返すようだが、「なぜ並木第二小と並木第三小なのか。並木第一小と並木第二小、並木第三小と並木第四小ということは考えられないのか。」との意見が出ている。
- A** 通学距離や通学時間の問題、あるいは並木第一小と並木第四小は今後児童数の増が見込まれ、適正規模校として維持されていく状況であるなど、第1回の検討委員会より、説明や議論を重ね、ご理解をいただいたところです。PTAや保護者の方々からの意見や質問等については、検討委員会委員として、前回までの協議内容を紹介いただき、理解いただけるよう「お力添え」をいただければ、ありがたく思います。
- Q2** 「懇親会」のような形で両校(並木第二小・並木第三小)で交流を持ち、保護者同士の意見交換をしていきたいが。
- A** 保護者同士の交流については、是非、そのような場を設けていただきたい。そのための準備期間である「平成16年度であり平成17年度である」と考えます。学校側についても、両校の今後についてのプロジェクトなどの検討の場を設けていただくよう相談をしていますが、保護者の方でも、交流の計画やPTA同士での懇親を行っていただければありがたいと考えています。
- Q3** メンタル面の専門家のカウンセラーについては、中学校ではすでに行っているとのことだが、小学校にも派遣していただけないか。
- A** 現在「スクールカウンセラー」として、中学校の全校に週1回程度、臨床心理士の資格を有する専門家が派遣されるようになっており、その効果が中学生の不登校等について、良い結果を出していることから、小学校にも是非、派遣をという意見もあり、今後派遣の充実についても、予算の中で議論していく方向となっています。現在では特に問題がある場合に、一部、小学校に派遣している事例もありますが、原則は中学校全校が対象となっています。
- Q4** 両校(並木第二小・並木第三小)の学校の施設見学会を行ってはどうか。どちらの施設を使うかについては重要なことと考えるので、客観的に見てじっくり検討すべきではないか。
- A** 紙面上で資料を見るよりも、実際の施設を見ることによって「学校施設の特色や違い」等もわかってくると思うので是非行っていただきたいと思います。

### ★具体的な検討内容について 統合場所について



- Q1** 統合校の設置場所の資料(2頁☆両校(並木第二小・並木第三小)の立地条件の比較)について、距離のところは何分となっているが、これは子どもが歩いた時間か、それとも大人の歩いた時間か。
- A** 不動産会社等が出している「駅から何分」という一般的な目安で「1分80m」としたもので、「大人・子供」で多少時間のズレはあると思われます。
- Q2** 第三小学校の約半分のエリアの子どもたちは通学距離が短くなる根拠は何か。また給食室の改善について教えてください。



